

日本慢性期医療協会シンポジウム 「今、あらためて身体拘束ゼロを！」

— 開催のご案内 —

1998年10月に福岡市で開催された「第6回介護療養型医療施設全国研究会」で「抑制廃止福岡宣言」が発表されました。それから16年がたち、全国の施設では身体拘束ゼロを目指して医療従事者の絶え間ない努力が続けられています。日本慢性期医療協会では1992年に介護力強化病院連絡協議会として発足以来、抑制廃止に取り組んでおります。抑制は患者の人間としての尊厳を奪うことであり、医療において安全を最優先させるとしても、してはならないものであると私達は認識しています。しかし、いまだ身体拘束を行っている施設があるのも現状です。私達は慢性期医療を担う者としての矜持を持ち、全国に身体拘束ゼロの施設を広めるために抑制廃止についてもう一度考え直したいと思っております。今回、抑制廃止に積極的に取り組む先生方とともに表題のシンポジウムを企画いたしました。抑制廃止への取組みに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

一般社団法人 日本慢性期医療協会
会長 武久洋三
新しい身体拘束廃止を考える会委員長 原 寛

開催概要

◇日 程 平成26年10月5日(日) 11:30~16:00

◇場 所 福岡明治安田生命ホール

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中州5丁目6-20 8階

*交通の手配等は各自でお願いいたします。

◇プログラム

11:30~

挨拶と提言

13:00

1. 県行政挨拶

(午前の部)

2. 「福岡県における取り組みと今後の抑制廃止への提言」

原寛先生(福岡県慢性期医療協会 会長)

3. 「抑制廃止福岡宣言より16年 なぜ福岡だったのか」

吉松秀則先生(正信会水戸病院 理事長)

4. 「抑制廃止宣言当時と現在のとりくみについて」

福本京子先生(有吉病院 ケア部長)

5. 「アンケートから読み解く抑制廃止福岡宣言後と今後の課題」

関和雄先生(抑制廃止とケアの質を高める会 会長)

13:00~

休 憩(会場内での飲食はご遠慮ください)

14:00

14:00~

「今、あらためて身体拘束ゼロを！」公開シンポジウム

16:00

座長: 中川翼先生(医療法人溪仁会 定山溪病院 病院長)

(午後の部)

シンポジスト

1. 有吉通泰先生(医療法人笠松会 有吉病院 院長)

2. 田中志子先生(医療法人大誠会 内田病院 理事長)

3. 富家隆樹先生(医療法人社団富家会 富家病院 理事長)

4. 志方弘子先生(北九州古賀病院 看護部長)

5. 田川大介先生(西日本新聞社)

◇参加対象 抑制廃止について関心のある方 (定員: 350名/先着順)

◇参加費 **福岡県慢性期ケア協会会員は無料(一般参加者は¥1,000)**

◇申込締切 平成26年9月25日(木) *定員に達した時点で受付は終了となります。

◇申込方法 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

◇共 催 日本慢性期医療協会・福岡県慢性期医療協会・福岡県慢性期ケア協会

日本慢性期医療協会シンポジウム
「今、あらためて身体拘束ゼロを！」
参加申込書

(本紙に必要な事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。)

〔申し込み先〕福岡県慢性期ケア協会

FAX : 092-691-3961

〔申込締切〕平成26年9月25日(木)

〔参加定員〕350名(先着順)

*参加申し込み後は、当日の会場受付まで直接お越しくださいますようお願いいたします。

***福岡県慢性期ケア協会 会員は参加費無料(一般参加は¥1,000)。**

貴院名

住所(〒 -)

TEL.

FAX.

参加代表者 氏名

参加総数(代表者を含め)

名

共催 日本慢性期医療協会

〒162-0067

東京都新宿区富久町11-5

シャトレ市ヶ谷2階

TEL : 03-3355-3120

FAX : 03-3355-3122

E-mail info@jamcf.jp

ホームページ <http://jamcf.jp>

日慢協ブログ <http://manseiki.net/>

福岡県慢性期医療協会

福岡県慢性期ケア協会

(医療法人原土井病院内)

〒813-8588

福岡県福岡市東区青葉6-40-8

TEL : 092-691-3881

FAX : 092-691-1059

E-mail info@fukuokakenryo.jp

福岡県慢性期ケア協会ホームページ

<http://www.fukuokakenryo.jp/>
